

こもれび

2019 年 7 月 140 号でご紹介したカープくんの近影

先月、彼の往生を覚悟しながら、恐る恐る彼が暮らしている「わんぱくこうちアニマルランド(高知県)」に連絡をしたところ、カープくんの担当の門谷様が信じられないほどのうれしい知らせと、奇跡の近影を送信してくださいました。

エサ金の宿命を背負った彼らは、コウノトリやカモなど鳥の餌として池に放たれ、次々と仲間が食べられました。次のジャガーの池でも生き残りました。オの冷たい水槽の中に、最後の十匹の仲間と共に入れられました。ここでも唯一生き延びました。なんと四年間に亘る試練の中、全長二十五cmが、2019年には三十cmに成長していました。それを最後に、カープくんの消息はインターネットで検索する限りでは途絶えています。

絶体絶命の危機を何度も乗り越えてきたカープくんの生涯が、絵本「シナの五人きょうだい」のいのちを懸けながらも、ひょうひょうと切り抜けた彼らと重なりました。

いまを生きている

いまは園の奥の池で余生を静かに暮らしていて、以前と同じ大きさの三十cmで、飼育員同士が「キレイやねえー！」と歓声を上げるほど。どこかが悪い感じもなく、一緒に過ごしている金魚四匹で仲良く？静かに暮らし、餌もよく食べているとのこと。因みに「カープくん」は、2016年夏、絶好調のプロ野球広島カープが優勝目前になり、二十五年ぶりの優勝が体の大ききの二十五cmと同じ数になったことや体の色から名付けられました。

カープくんは放たれた様々な池で、どのような思いで生きてきたのだろう。静かに余生を送る池の中で何を思うのだろうか。牛や豚や鳥などの捕食者である私が彼に敬意を申し上げる立場ではありませんが、カープくんの目や姿を見ますと、常に感謝して食事をいただくかなければならないと思うばかりです。

株式会社溝口祭典 溝口勝巳

* シナの不思議な能力を持つ五つ子が、ある事件で死刑に処せられることになるが、それぞれの特別な能力をもって窮地を乗り切るお話。



ご担当の門谷さんとカープくん

無料 セミナーのご案内

供養のかたち

お墓を誰に託したらいいか迷う方も多い昨今、樹木葬・納骨堂、永代供養墓などのお問い合わせも増えています。お墓についてのご質問・ご相談をお受けいたします。

日 時 1月29日(日) 午前10～11時

場 所 こすもす斎場(八王子市元横山町2-14-19) / 定員 10名

終活のすすめ

終活ノート(エンディングノート)を書きながら、ご自分の人生を振り返ってみませんか? 振り返ることで、新たな自分やこれからの目標が見つかるかもしれません。

日 時 2月16日(木) 午前10～11時

場 所 こすもす斎場(八王子市元横山町2-14-19) / 定員 10名

ご葬儀個別相談会

心配な人がいるけれど、何を相談したらいいのかもわからない・・・そんな方のために個別相談をお受けします。不安なこと・心配なことなんでも聞いてください。個別相談会のご都合が合わない方は、別の日時でもお受けします。遠慮なくご連絡ください。

日 時 3月28日(火) 午前10～11時

場 所 こすもす斎場(八王子市元横山町2-14-19)

納棺のすべて

納棺の儀式の実演や、納棺に関する様々な疑問・質問にお答えします。希望者は実際にお棺に入る入棺体験も可能です。遺族にならないと経験できないご納棺の儀式を是非体験してみませんか。

日 時 4月8日(土) 午後4～5時 4月15日(土) 午前10時～11時

場 所 こすもす斎場(八王子市元横山町2-14-19) / 定員 7名

○ まちゼミでもご案内しています。

全てのセミナーはお電話で、事前にお申込みください

TEL.042-642-0921 株式会社溝口祭典

こもれび1月号(次回は4月15日発行) 2023年1月15日 発行 第158号 «4000部発行»
発行/株式会社溝口祭典 発行人/溝口勝巳 〒192-0063 八王子市元横山町2-14-19 TEL042(642)0921

ヒートショックを防ぐ！^{補足} (読売新聞より抜粋)

ヒートショックを予防するには、他にもこんなことがおすすめです。

- 1、湯船の蓋を開けてお湯を張り、浴室を暖める。
- 2、入浴前の深呼吸も血圧を安定させる効果があるのでお勧めです。
- 3、入浴前の飲酒は厳禁！
- 4、湯船から上がる時も一気に立ち上がりず、ゆっくりと立ち上がる。

入浴は安眠や疲労回復に効果があるので、しっかりと対策し楽しんでください。



植木の里親 やましたグリーン

はんてんにねこ 半纏に猫

前回は檜原村での作業体験が、現在の私がある1つ目の理由と書きました。今回は残りの2つ目と3つ目の理由を紹介したいと思います。

檜原村での作業体験は私の自己肯定感をあげ、職人になったという夢を与えてくれましたが、その当時は職人さんとは、体を動かして仕事をする職業という認識がなく、何の職人になりたいのかはもちろん、職人にはどのような職種があるのかもよくわかっていませんでした。そんな漠然とした夢を「庭師として会社を立ち上げる」という明確な夢に進化させてくれたのが次の2つの理由です。

第2回 意地悪婆さん とかけそば



【理由その2】

まずは職人の中から庭師という職業を選んだきっかけをお話しします。当たり前ですが、知らない職業になりたいと思うことはできません。なりたいと思える職業についている大人に出会う必要があります。それも、その大人は子供が強い憧れを持つような人物でなくてはなりません。子供の頃の私もそんな人物に出会ったからこそ、庭師になりたいと思うようになりました。出会ったと言っても私の場合は直接出会ったのではなく、テレビドラマに出てきた庭師さんを見て強烈に憧れたのです。

そのテレビドラマは「意地悪婆さん」というコメディドラマでした。このドラマは青島幸男さん扮する意地悪婆さんが近所の人たちに意地悪をして楽しむというその名の通りの内容で、長谷川町子さんの4コマ漫画作品「いじわるばあさん」を原作として制作されたものです。

確か小学校4年生の頃だったと思いますが、家でテレビをつけると、またまこのドラマがやっていました。意地悪婆さんが意地悪をする相手を探して街中を歩いています。そ

の時、庭先から斜めに突き出た脚立の足が目に入りました。婆さんはニヤリと笑うと同時に、脚立の脚を蹴飛ばしました。すると作業中だった半纏姿の庭師が落っこちてきました。庭師は怒って文句を言うのですが、婆さんは意に介さずその場を立ち去ってしまいます。画面には、立ち去る婆さんに憤慨してにらみつける半纏姿の庭師の後ろ姿が映し出されました。なぜか私はこの背中に強烈な憧れを抱きました。意地悪されて落っこちている庭師をかつこいと思ってしまったのです。(笑)

【理由その3】

もう一つ、会社を立ち上げようと決意したエピソードをお話しします。当時の我が家は両親と2つ上の姉の4人家族。年に一度、父の会社の保養施設がある伊豆に行くのが夏休みの恒例となっていました。

私が小学校5年生だった夏休みに恒例の伊豆旅行に行きました。その旅行の昼食時にお蕎麦屋さんに立ち寄りしました。私は「天ぷらそばが食べたい！」と言ったのですが、そこは予算の限られた家族旅行、観光地ということもあり価格も高かったのです。



TORA-JIRO HASEWO
TRAVELER

本の紹介

「アジア・ヨーロッパ自由旅 フーテンの寅ベラー」

はせを寅次郎著（エコハ出版）¥2,200

著者は、「松尾芭蕉」と「フーテンの寅さん」を尊敬する弊社会員のEさん。仕事の関係で国内は47都道府県に行った著者がこの本では主にリタイア後に行った海外旅行の楽しい思い出を、ツアーではなく個人旅行について取り上げています。

ツアーしか経験したことのないシニアの方に「楽(らく)な旅よりも、ちょっと大変でも思い出に残る楽しい旅行をしてもらいたい。一度は個人旅行にチャレンジしてもらいたい！」という思いをこめて書いたエッセー集です。ご希望の方には、¥2,000でお譲りいたします。溝口祭典 042-642-0921 までご連絡ください。





やました りきと／山下 力人 株式会社やましたグリーン 代表取締役

1977 年東京都八王子市鹿島にて生まれる。庭師として 12 年の修行の後、やましたグリーンを設立。心理カウンセラーの資格を持つ庭師歴 27 年の「心の庭師」。2012 年に伐採予定の植木を生かしてあげたいと自社の敷地に植栽したことをきっかけに「植木の里親」活動を開始。SDGs 事業に取り組む先進企業として様々な賞を受賞。現在は、環境創造会社として「植木の里親活動」「もらえる植物園」「サステイナブルガーデン」の環境循環型の 3 つの事業を柱に、より良い環境社会の実現に取り組んでいる。

【受賞歴】 2019 年 第 17 回多摩ブルーグリーン賞「多摩みらい賞」を受賞
2021 年 第 9 回グッドライフアワード審査委員特別賞「森里川海賞」受賞
2022 年 GOODDESIGN 賞 BEST100 に選定される



よう、私の要望はあっさりとは却下され、家族全員が「かけそば」を注文するということになりました。食欲旺盛だった私はとてもがっかりして頬杖をつき、ふてくされるもの隠さずに「かけそば」が来るのを待っていました。

そこに、ちょうど当時の私と同じぐらいの子供をつれた家族が入店してきました。そのお父さんは、金の腕時計をしていて、見るからに羽振りが良さそう。私は「この人社長っぽいな」と勝手に想像してなにげなく眺めていました。そのお父さんが何の躊躇もなく言った一言が、私の人生に影響を与えるほど衝撃的な一言でした。

「何でも好きなものの頼んでいいぞ！」
・・・衝撃でした。

個別保冷安置庫の増設のご案内

弊社三つ目の建物「こすもす会館」に安置室を増設いたしました。

これにより、こすもす家族会館に 6 名、こすもす会館に 6 名の計 12 名のお預かり・ご安置が可能になりました。

- ① 適切な温度管理を徹底した施設ですので、日延べしてもご安心いただけます。
- ② 大切な方とのご対面が可能です。
- ③ 生花をはじめ、故人様がお好きだったものをお供えすることができます。
- ④ 弊社といたしましても、個々のご霊前に、宗教・宗旨に合わせたお供えをして、ご供養しております。

三休さんの 2022 年 年末テスト答え合わせ

- 1 ① 寶妓院千代歌愛大姉：島倉千代子 ② 和響天裕居士：内田裕也
- 2 毘沙門天 / ⑥本立寺、 福祿寿 / ①金剛院、 寿老尊 / ③宗格院、大黒天 / ④ 善龍寺、 恵比寿天 / ⑤伝法院、 布袋尊 / ②信松院、弁財天 / ⑦了法寺
- 3 ○ 京都五山の送り火で最初に点火される文字は「大」です。
× 不動明王は、**阿弥陀如来** ではなく、大日如来の化身です。
○ 彼岸は現世(此岸)の向こう岸（悟りの世界）のことです。
× 観世音菩薩は**女性的だが実は男性**ではなく、性別はありません。
○ 804 年の第 17 回遣唐使船に二大宗祖の最澄と空海が乗っていました。
× **本堂に33体の化身仏が置かれている**のではなく、南北 120m にわたる大きな本堂の内陣にある柱間が 33 あるので三十三間堂と呼ばれています。
- 4 昨年春の人形供養では、1003 体のお人形を供養しました。

運ばれてきた「天ぶらそば」を美味しく食べる男の子、それを横目に呆然としながら「かけそば」をすすめる私。その時心に誓ったのが、将来は必ず家族に「天ぶらそば」を食べさせることができる、羽振りのいい社長になるぞ！という強い想いでした。（このお父さんが社長さんかどうかは不明です…）

ちなみに今でも「かけそば」はトラウマになっていて、お蕎麦屋さんで「かけそば」を頼んでいる子どもを見ると、「天ぶらそば」をおごりたくなってきました。

この出来事が「社長になる」という 3 つ目の夢を私に与えてくれました。

① 檜原村での作業体験×② 意地悪婆さん×③ かけそばⅡ庭師として会社を立ち上げる

この掛け算によって現在の私があります。子供の頃、全く言うことを聞かないので、母親にはだいたい迷惑をかけてしまいましたが、子供の私は自分の目で大人たちを観察し、自分がかっこいいと思うものを目指してきました。改めて子供の頃の自分に感謝したいと思います。

当社の理念の一つに「庭師を子どもたちが憧れる職業 NO. 1 にする」というものがあります。これは庭師に憧れた自分への感謝の気持ちを忘れないように、そして、輝く大人たちの背中を見て、多くの子どもたちが未来にワクワクしながら成長していく世界を実現するために掲げている理念です。子どもたちが憧れる輝く大人になるために、日々精進していききたいと思います。

長々と私が夢を叶えた話にお付き合いいただききました。次回は夢が叶ったあとのお話をさせていただきますね。



風間 美代子／かざま みよこ 認定 NPO 法人多摩草むらの会代表理事、社会福祉法人草むら理事長

- 【略 歴】 1946 年 旧満州新京にて生まれる
1997 年 息子の発病により発起人となり仲間とともに草むらの会を立ち上げる
2008 年 認定 NPO 法人多摩草むらの会代表理事就任
2018 年 社会福祉法人草むら理事長就任
- 【資 格】 認定臨床心理カウンセラー
- 【受賞歴】 2012 年 3 月 「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞
2013 年 12 月 ヤマト福祉財団「小倉昌男賞」
2016 年 12 月 多摩ブルー・グリーン賞「経営部門優秀賞」2 度目の受賞



夢を追い続けて

“精神障がい者と共に”！ 第3回 風間 美代子

迎春万歳

謹んで初春のお喜びを申し上げます。冷たい風と澄んだ初空のもと、大きく息を吸い込むと何だかむくむくと希望が湧いてきます。今回は第三回、いよいよ各事業所の立ち上げとそのきっかけと目標について書かせていただきます。

二〇〇二年、念願の働く場所として地域の方々と自然に触れ合う場として寒天茶房『遊夢』をオープンさせました。運営費0円からの出発でしたので、売り上げを上げる為に他店との差別化したメニューやコンセプト等いろいろ協議した結果、いつものようにメンバーさん達に食べてもらいたい物、安心安全な食材、そして体に優しい物など、寒天を主にしたメニュー、無農薬・無添加にこだわった食材、地域の方々にも食べていただきたい、体に優しい野菜たっぷりの懐かしいすいとん、寒天うどん、あんみつ、豚汁など、皆様にとっても喜んでいただきました。お陰様で売り上げも伸び、当時の障がい者の工賃としては高い時給四

その後、二〇〇三年に増え続ける多様なメンバーさん達のため、取り敢えず来る場所、できる範囲の軽作業をしていただき、コミュニケーションの取り方などを楽しみながら学ぶ所として開所したのが『夢来』です。家に引きこもっていた方達がまずは来られる場所であり、また就労したOBや家族間での人間関係等でストレスをためてしまった方々の再生の場所でもあります。週一回一時間でもOK、取り敢えず来ることに意義がある所です。

たわいのない会話やトランプ、卓球、将棋などをやる中で、自身をなんとか取り戻し、全く食欲を無くしていた方が「今日はじめて食べる物です」と三時のお茶の時間におやつを美味しそうに食べる姿にホッとすると同時に、心の中で思わず「頑張れ！」と声援を送ってしまいました。彼らといくと、本当に生きると言うことの大変さを思い知らされます。それは繊細すぎて傷付きやすい特性を持っているが故ですね。↙



百円を支払うことが出来ました。その中の一人が「今年は母の日に真正正銘の自分の稼ぎでプレゼントが出来ろぞ」と言って満面の笑みで帰って行ったのを思い出します。

当時、兎も角メンバーさんへの支払いが最優先でしたので、スタッフとして働いてくださったitting ボランティアの方々やメンバーのご家族の方々には、なかなかお支払出来ず、二年ぐらい経って、一回いらしてくださいたら交通費として千円お支払いでき、少しですがホッとしたのを覚えています。

飲食をする、大きな目的でもありませんでした地域の方々にごく自然な形でメンバーさん達と触れ合っていたべく為にも、流行るお店にいらしていただけるようにする、そうすればいつかきつと偏見は取れるものだと思っております。メンバーさん達は決して隠す存在では無いはずで。昨年で遊夢もお陰様で二十周年を迎えることが出来ました。↙

次に、二〇一〇年パソコン教室『夢像』を立ちあげました。メンバーさん達は、もう一度社会の中で生きていきたい、出来れば一般就労して経済的自立をしたいという夢を持っています。その為にパソコンは必須ですが、なかなか外に習いに行くことが出来ません。そんな彼らの思いに応えて出来たのがパソコン教室『夢像』です。

少しずつパソコンを使った仕事をしながらステップアップのチャンスを狙っています。希望を胸に夢の一つ一つを篝火にして荒野を歩いてきたつもりが、知らぬ間に幾つもの夢の篝火が灯り、少し『草むら』になってきたような気がします。相変わらずひるまず諦めず今年も力強く歩み続ける所存です。どうぞご支援の程宜しくお願い申し上げます。

卯年は大きく飛躍することができそうです。皆様にとりまして今年一年が穏やかな年でありますようお祈りいたします。